

しかはま自然観察会

のらえもん

『人も 自然も みんなともだち !』No. 8

代表責任者

古高 利男

☎270-1132

我孫子市湖北台2-14-7

☎090-7275-9890

2013, 8, 24 (土)

第8回活動「ハゼ釣り」

1, 日 時: 2013年8月24 (土) 午後2:30~5:30

2, 場 所: 都市農業公園下の荒川

3, 参加者: 家族8 内訳 大人 9
子ども 12
幼児 3
合 計 24 スタッフ3 総計27

4, 活動の様子

満潮は、夕方の6時30分頃でした。そのため、釣りを始めた3時すぎでは、岸から3~5位の所までにしか水は来ていませんでした。

おかげで、川底には、捨てられたタイヤ・ビニール・ロープなどのゴミが目につき、「こんな所に、魚がよってくるのかな?」と、心配になるほどでした。また、魚より「ゴミを釣ってしまうな」と、不安になりました。

- 2時30~昨年からはじめた環境整備です。岸辺のゴミを拾ったり、草を刈ったりしました。イネ科の植物が多く、丈夫です。鎌でもなかなかすんなりと刈れません。トゲのあるバラは、ズボンの中まで刺さってきました。

- 3時~いよいよ、釣りが始まります。

その前に、釣り講師である福藤様から、①仕掛けの結び方②エサのつけ方を学びました。どれも、釣りをするための基本です。「釣るだけ」から、釣り糸を垂れる前までの「準備」にも目を向けて欲しいという、釣り講師の願いでもあります。

子どもも親も、真剣に聞いていました。が、いざ実際にやってみると、思うようにいきません。だからこそ、「何回もやってみること」が大切なんですね。

- いよいよ釣りの準備ができました。それぞれ自分のポイントに向かいました。

今日は、何尾つれるかな?

- 「釣れた!」の元気な声が、なかなか聞こえてきません。

第一声は、山口さんでした。きれいなハゼでした。これで勢いづくかな?と期待したのですが、後が続きません。結局、ハゼは3尾しか釣れませんでした。その他の魚では、稲川祖父さんが20センチぐらいのセイゴを釣り上げたただけでした。

- 釣れなかった理由として、釣り師の福藤さんは、「前日の大雨で、川底がひっかき回され、酸欠状態になったため」と、説明してくれました。

○ 気温の様子

2013年8月24(土) 午後4時	
○気温	31, 5℃
○水温	29, 1℃
○砂の中	29, 5℃

* 砂の中の温度が水温よりたかいは！これでは、水の中の酸素が少なくなってしまう。魚も、冷たい水を求めて、どこかえ行きたくなりますね！

○ これまでの、釣果の様子

	25年	24年	23年	22年	21年	合計
ハゼ	3	30	34	35	90	192
その他の魚	1	2	5	8	5	18
合計	4	32	39	43	95	210

○ 福藤様から感想を寄せていただきましたので、全文を紹介します。

先日は(8月24日)、大変お疲れ様でした。

今回は、ここ数日の大雨で水が濁って酸欠状態となり、一部の魚たちが死んでしまったことも一因で、とてもきびしい釣果となってしまいました。

さて、ここ数年来ののらえもんの活動はとても目覚ましく進歩し、観察等のみならず、キャンプや雪山・里山生活体験等、より純粹で清らかな自然に接して、とてもすばらしいと思います。

一方、荒川は、まだゴミもあり、少し臭い、決してきれいな川とは言えません。しかし、一度は死んだ川が、年月をかけて少しずつ回復し、特にハゼのポイントの船着き場は護岸工事もほとんどなく、なだらかな小石混じりの砂泥の洲となっており、そこにはハゼのみならず多くの生き物が生息しています。

今回は魚が釣れなくても、カエルやバッタ・カニを無心に追うこどもたちをみて、与えられた状況のなかで楽しみ・興味を見つける行動はとても良いなと感じました。これも「自然」かなと思いますがいかがでしょうか？

最後に、今回、先生は「感動がなかったので、感想文は集めません」とおっしゃいました。私は、ふと、とても暑い中、子どもたちのために草刈りをしてくれた釣り船の船長さんや試し釣りで5回まで(私が)訪れて確認作業を続けたことを思い出し、結果が出なかったとはいえ、少しさびしい気持ちになりました。

後日、福藤様から連絡があり、「来年は、ハゼやカニなどの水辺の生き物を展示して、見せる場面をつくっておくのもいいと思います」と、早速提案がありました。ぜひ、この提案を生かし、「釣れなくても、荒川にはこんな生き物がいるんだ」ということを伝えていきたいと思います。